

ふるさとだよ

よしき

FURUSATO DAYORI YOSHIKI



2025

10

No. 835



CONTENTS

インフォメーション..... 2,3

【トピックス】
地域内福祉・子育て活動団体間
交流会を開催しました..... 3

【トピックス】
吉敷養児園、こども家庭支援
センターあおぞらが開設され
ました..... 4

【トピックス】
「学校」「家庭」「地域」の連携に
よる初めての給食試食会..... 4

なんでも広場..... 5

みんなで防災..... 5

レポート..... 6

【ふれあいのまち吉敷】
吉敷地区福祉員
協議会..... 7

リレーエッセイ..... 7

イベントカレンダー..... 8

かけはし..... 8 よしき人

YOSHIKI
DATA

【人口】14,475(前月比-59) 【世帯数】6,433(前月比-60) 令和7年8月1日現在



インフォメーション

10月1日から全国一斉に始まる

「赤い羽根共同募金」

毎年、多くの御協力もいただき、ありがとうございます。



この募金は「じぶんの町をよくするしくみ」として集まった募金のうち、4割は山口県内、6割は地域での福祉活動に配分され、「山口」暮らしの難しさのための活動」に役立てられています。今年も皆様のお力をお借りします。

かなやまふれあいウォーク

吉敷地区子ども会と一帯に年終な金山(かなやま)登山をしませんか?

【とき】10月18日(土) 9時30分集合 12時30分まで ※雨天中止

【場所】新公園弓道場前集合

【対象】高低差約200m往復約3kmの山道を自分で歩ける方

【準備】ウォーキングに適した服装、弁当、飲み物、タオル、靴、ゴミ袋、防虫スプレー等

申込締切 10月10日(金)

申込・問い合わせ 地域交流センター

☎083-922-33915



子育て講座「ちびっ子運動会」

親子でからだを動かして楽しい時間を過ごしましょう。

【とき】10月20日(水) 10時~11時30分

【場所】地域交流センター 講堂

【対象】未就園児とその保護者20組(定員)

【参加費】100円/組

【準備】飲み物、タオル等

【託児】無し

主催 母子保健推進員・音楽家

申込・問い合わせ 地域交流センター

☎083-922-33915



観戦ゴルフ大会

例年11月に行なっていました吉敷地区観戦ゴルフ大会は、第79回赤い羽根共同募金チャリティ「ゴルフ大会の日」が重なったため、今年度の開催を見送ります。

来年度、皆様のご参加をお待ちしています。

問い合わせ 地域づくり協議会

☎083-922-3344

肺がん(結核)検診・喀血検査のお知らせ

がんの早期発見に向け、集団検診を実施します。早期のがんは自覚症状がないことが多いので、定期的な検診受診が重要です。40歳以上で、職場等で検診や人間ドック等を受ける機会のない方はぜひ受診しましょう。受診の際は必ず、がん検診受診券(5月下旬発送)をご持参ください。

肺がん(結核)検診

【とき】10月30日(木) 13時30分~16時

【場所】地域交流センター

【負担金】300円(令和7年4月1日時点で40、45、50、55、60歳の方、昭和36年4月1日以前に生まれた方は無料)

【予約】不要

【対象】肺がん検診と同時に受診できます。

【対象】肺がん検診受診者のうち、50歳以上で喫煙者(1日の喫煙本数×喫煙年数が600以上の方)

【負担金】700円(70歳以上の方) ※後期高齢者医療被保険者証を提示された65~69歳の方、70歳未満で市町村税非課税世帯の方(要事前申請)は自己負担金が500円です。

※完天時は、延期または中止となる場合があります。

問い合わせ 市保健センター

健康増進課 ☎083-921-2666

よしきフォトコンテスト

今日の応募は10月22日(水)まで

よしきフォトコンテスト実行委員会では第8回フォトコンテストを開催しています。

カメラに撮りためたまの写真を、パソコンに保存してある写真をこの機会にチェックしてみませんか。多くの皆さまからの応募をお待ちしています。

募集作品は次のとおりです。

- 吉敷でふれあう人々の写真
- 吉敷で開催されるイベント等で交流する人々の写真
- 四季折々に姿を変える吉敷の美しい風景

応募・問い合わせ

よしきフォトコンテスト実行委員会

☎083-922-3344

※応募に関する詳細は、応募チラシや地域づくり協議会のウェブサイトを確認いただけます。



古地図を片手にまちを歩こう

各地で街道ウォークスタンプラリー

令和8年10月から12月にかけて山口県とJRグループや観光事業者による国内最大級の観光キャンペーンである「グロステイネーション」キャンペーンが開始され、そのプレイベントとして「古地図を片手に、まちを歩こう」といったイベントが各地で開催されます。コースは山口県内と島根県益田市における52コースです。

室町時代における大内氏の海外貿易ルートで、古地図において整備と保存に取り組んでいる肥中街道も、その52コースの中に組み込まれています。

スタンプラリーも行われており、1コース参加ごとにスタンプ1個が押印され、スタンプ10個以上でオリジナルピンバッジ、スタンプ15個以上で、古地図リーフレットコンプリートボックスがプレゼントされます。

古地図の街道(肥中街道)の特徴

道標としてQRコードを掲載した石柱を設置しています。また、江戸時代に肥中街道の道標になっていた一里塚の復元も行っています。

周辺に大内氏の盛衰や幕末・明治維新における吉敷毛利家の活躍が偲ばれる道標が各地に残されています。古地図を片手に古地図の街道を散策してみましよう。

古地図の街道(肥中街道)の特徴

街道ウォークスタンプラリー

開催 令和7年10月(令和8年3月)5日(日)

とき 10月12日(日)、11月30日(日)、12月14日(日)、2月15日(日)、3月15日(日)

集合場所 地域交流センター 9時集合
行先 地域交流センター(関屋一里塚)・赤田神社・寺橋・赤田神社・関屋一里塚・地域交流センター

約5km(約2時間半)
ガイド 古地図文化遺産研究会

地域交流センターから寺橋に至る街道を古地図と現在の地図を比較したリーフレットにより分りやすくガイドします。

参加料 無料

申込・問い合わせ 古地図文化遺産研究会(3日前までに要予約)
☎083-92413344



関屋一里塚



地域内福祉・子育て活動団体間 交流会を開催しました

地区社会福祉協議会では、7月30日(水)良城小学校伊藤幹哲教頭先生を講師にお招きし、「地域内福祉・子育て活動団体間交流会」を開催しました。

「コミュニティ・スクールとは」

地域の声を学校の運営に反映させるとともに、地域の支援を教育活動に取り込むことで、健やかな子どもたちの成長を育み、開かれた学校、信頼される学校づくりを目指す取り組みです。良城小学校では、「ふるさと吉敷を愛し、あたたかい言葉で支え合いながら、進んで学び、人と学び、大切な心と体を自ら守る児童を家庭・地域とともに育成する」を教育目標としているそうです。

小中一貫教育を目指す

良城小学校と鴻南中学校が連携し、児童生徒がスムーズに学びを進められるよう連続性のある教育を目指しているそうです。また、「好きです鴻南(わたしもあなたもふるさと)」という鴻南中学校区全体の教育目標を軸に地域を大切にすることを育む取り組みにも力を入れているそうです。



講演する良城小伊藤教頭



交流会の様子

等々のあいさつ運動による子どもたちの見守りに関する川柳が多く、学校と地域が連携し取り組んでいる「あいさつの日」が浸透していることが感じられる交流会になりました。

団体間交流会を実施しました。講話の後は、伊藤教頭先生にも参加していただき、福祉団体、子育て団体の交流会を行いました。グループで良城小学校の子どもたちのためにできることや、必要とされている支援について話し合い、最後に子どもたちと、どのように関わっていくかを川柳にして発表しました。発表された川柳には、「あいさつは子どもに負けず元気な声」「見守りのついでにしているダイエツ」「見守りながら褒めて伸ばそう地域の子」「おはよう元気な声で見守るよ」「暑いけど元気もらえる立哨堂」



吉敷愛児園・子ども家庭支援センター あおぞらが開設されました

「児童養護施設吉敷愛児園」は昭和24年より、龍蔵寺の入り口で事業を行ってきたが、土砂災害の指定地域となり、避難活動等を要することから、維新公園6丁目(木崎地区)へ統合移転されることになりました。

また「児童養護施設吉敷愛児園」に「子ども家庭支援センターあおぞら」が併設されることになり、昨年7月に地盤調査を行い、1年をかけ、園児のための寄寓舎や本施設が整備されました。そして、8月8日(金)に、多くの関係者を招き、竣工式が盛大に行われました。



新設された施設

日常生活に対する配慮

定員は30名です。出来る限り家庭に近い環境で養育を行うことをモットーとし、様々な年齢の子どもが、「ホーム風」「ホーム虹」「ホーム星」「ホームちだ」「ホームくら」の5つの家に分かれ、日常生活を送っています。

子どもたちが一緒にお店に行ったり、きなものを選んだり、各家で食事をしたり、楽しく食事を囲んだり、自分の部屋を自分の好みに飾ったりすることができるよう、「衣・食・住」に渡りさり気ない配慮がなされています。

愛児園を地域で応援しましょう

児童養護施設は、家庭の事情により保護者による養育が困難な児童に対し、安定した生活環境を提供し、心身の健全な成長と自立を支援することを目的として、全国に設置されている施設です。

吉敷愛児園は、被災孤児を救済するため、子どもたちへの「愛」の精神により創設され新園舎の前に、創設者の宮原美紗氏の像が建てられています。地域の皆さんの温かい心遣いや善意が子どもたちの将来を明るくします。吉敷愛児園の子どもたちを地域で応援しましょう。



「学校」「家庭」「地域」の連携 による初めての給食試食会！

6月4日(水)に、良城小学校において、開催された「給食試食会」に学校運営協議会の委員と吉敷地区民生委員・児童委員協議会の委員が参加しました。

「学校」「家庭」「地域」の連携

今日の「給食試食会」は、コロナ禍のため廃止となっていた「学校」「家庭」「地域」の連携を強化したいという思いがあり、昨年度良城小学校へ相談し、実現することができました。

子どもたちと給食を食卓！

当日の献立は「ハンバーガー」

給食試食会の様子をご紹介します。まず、1年生の給食当番さんの仕事を見学しました。給食室の前で2列に並び、順番に校長先生から手指消毒をしてもらって給食室に入ります。今回のメニューは「ハンバーガー」。配膳の時はトングでハンバーガーを挟むのがなかなか難しそうでしたが、少しずつコツを掴んで取り分けていました。

今回、参加した地域の方も給食委員会の皆さんと一緒にハンバーガーを作っていました。パンが柔らかく、思ったより大きかったので食べ応えがありました。

牛乳も瓶ではなく紙パックになっており、飲み終わった後は小さくたたみます。小さくたたむ方法を給食委員さんに教えてもらいました。



給食試食会の様子

実際に学校へ行ってお手伝いしませんか

小学校では、もともとあった地域の方が参加される行事の他、「ステップアップタイム」の丸付けや「託児」のお手伝いなどコロナ禍で無くなったこともあり、今一度、地域の方の手伝いを必要とされています。

今までも、登下校時の「行っちゃい」「ごんには」「おかえりなさい」などの声掛けや見守りされている方は多くいらっしゃいますが、実際に学校へ行ってお手伝いすることも必要になってきています。地域の子どもたちを育てるお手伝いをお願いします。

なんでも
広場読者発
広場

読者発QRコード



上のQRコードを
スマホ等で読み取って
お知らせに反映されます。

【問い合わせ】
☎083-922-3915

世界は英語でもかかると

4月から英会話に通い、英語を学んでいる。私は、片耳で聴いて、口で話している。英語に海外の文化や考え方を学ぶことは楽しい。

先日、英会話の先生に誘われ、外国人の方が集まるイベントに参加してきた。日本人の方も数名、アメリカやケニア、ネパールにウガンダなど様々な国の人がいて、そこはフレンドリーで優しい空間だった。

まずは自己紹介から始まり、みんなで歌を歌ったり、ダンスをしたり、英語についていけない所もあったが楽しい時間を過ごした。

数年前に知り合ったセネガル人、そして今回出会った外国人の方たち。英語を学び、外国人の方と会って思うこと。それは、世界は広く大きな家族だということ。戦争のような悲しいニュースで世界を知りたくない。だが、みんなが幸せに暮らすことは折りたい。彼らの出身国を調べて、また彼らから母国のリアルや素敵な場所や文化を知りたい。

私は、日本人特有の人見知りや、人との壁を作ってしまうことがある。英語を学び、外国人の方との交流を通して、私自身も変わりたい。国が違う、言語が違う、文化・習慣が違う

からなに？

決めつけではなく、好奇心で人と繋がる彼らはサイコーにかっこいい。



武蔵国助(中村)

通称

★長城小学校合唱団ダブル受賞

NHK合唱コンクール山口県大会

「金賞」受賞 全日本合唱コンクール

山口県大会「金賞」受賞

★海陽シンガーズ(海陽中学校)

NHK合唱コンクール山口県大会

「金賞」受賞

古歌を代読するそれぞれの校が

9月7日(日)に広島県廿日市市で行われる中国ブロック大会への出場権を獲得しました。全日本合唱コンクール山口県大会で「金賞」を受賞した長城小学校合唱団は11月9日(日)に静岡県浜松市で行われる全国大会へ推薦されました。

長城小・海陽中OB

みんな
防災

「地域の防災力」について②

みんなが高める
地域の防災力

前回に引き続き、防災の「自助」「共助」「公助」の「自助」は住民一人ひとりによる防災活動です。「共助」は地域の多様な主体組織による防災活動。「公助」は公共機関による防災活動。

これら「自助」「共助」「公助」の適切な役割分担と相互の連携協力によって確保される、地域における総合的な防災の体制及びその能力が地域の防災力です。

災害から命を守るには、まずは一人ひとりの「自助」、の能力を高めることが大切です。

個人(家族)による取り組み

□防災について学ぶ

正確な知識を身につけることが、防災の第一歩。古歌地域と居住地にどのような災害の可能性があるかを知ります。

また、遠い地域で大規模災害があった場合、私たちが受ける影響と私たちに何ができるかを考えることも考えてみましょう。

□自宅での防災対策

①住まいの耐震化・燃焼化を進めましょう。

昭和五十六年以前に建築された

建物は耐震性に問題がある可能性が高いので、支援措置を受けて、耐震診断を受け、耐震化・不燃化を進めましょう。

②家具や冷蔵庫を固定しましょう。

大型家具には転倒防止器具を取り付けましょう。金具式、ボルト式、ストッパー式などがあります。冷蔵庫やテレビは粘着マットや固定ベルトを使うのも有効です。

③食器棚などにガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。

ガラス片や食器が飛散した場合に備えて、スリッパや運動靴を履けるようにしておくことも大切です。

④自宅内の避難経路を考える。

地震により玄関が開かなくなる可能性があります。外への避難は複数のルートを考えてみましょう。

⑤非常持ち出し品を準備しておきましょう。

貴重品類・避難用具・生活用品・救急用品・非常食・入り用品・感染対策用品・その他。

⑥備蓄品(自宅に備えておくもの)は詳しく次号で紹介いたします。

宮城地区防災会

☎083-922-1334

レポート

多世代交流 囲碁・将棋大会

8月9日(土)、地区社会福祉協議会と良城クラブの共催で、「囲碁・将棋大会」を開催しました。将棋の部には小学生も参加し、大人顔負けの実力で、白熱した対戦が繰り広げられました。次回は、皆さんも参加してみませんか。



ホタルを育む会・俳句の選考

8月28日(金)、地域交流センター視覚室にて、「ホタルを育む会」を開催し、良城小学校児童が作った俳句の選考を行いました。
総応募数401句の中から、最優秀賞1句・優秀賞4句が選ばれました。
発表・表彰は、10月9日(木)の「ホタル放流の集い」で行います。



夏休み最後にスイカとそうめん

8月30日(土)、地域交流センターにて、「スイカ割り」と「そうめん流し大会」を子どもステーションが開催しました。当日は、夏休み最後の土曜日でしたが、7名の参加があり、センターの駐車場ですいか割りというゲームを行いました。参加した子どもたちは、おなかいっぱい食べて、夏の楽しい思い出を作ることができました。



話の聞き方講座

〜つながるこころのケア〜

9月3日(水)、地域交流センター視覚室にて、「話の聞き方講座」が市保健センター主催で開催されました。約50名の参加があり、臨床心理士・公認心理師の武田用昭氏を講師にメンタルケアやゲートキーパーの基礎知識を学びました。



防災連絡員研修会

9月6日(土)・7日(日)、地域交流センターにて、地区防災会が各町内会・自治会の防災連絡員16名を対象に、防災研修会を開催しました。
大災害時の自助と共助の重要性、災害への備えや防災連絡員の役割などを学びました。
もしもの災害に備えて、防災連絡員ができることを再確認できる研修会となりました。



親子で料理に挑戦してみよう

9月12日(金)、地域交流センターにて地区母子保健推進委員とオーガニックやまぐちによる「エシカル料理講座」子どもが野菜を好きになる」を開催しました。
野菜を上手に使った料理を学び、野菜嫌いなお子さんでもおいしく食べることができました。



草刈り作業でのトラブルを防ぎましょう

草刈機や刈払機での作業増加とともにトラブルが増加しています。自分自身と周りの人を守る実践行動をしましょう。



安全作業上は他の作業員と15m以上離れることが望まれています。

【参考】

時代が進み、安全で使いやすいものが出ています。
・エンジン式→バッテリー式
・刃(チップソー)→ナイロンコー
ド、バリカン方式、ハサミ方式
・除草道具→立ち作業の道具が使い
やすい。除草スクレーパー、草刈
リスコなど

古郡地区環境づくり推進協議会

☎083-9222-3344

吉敷地区福祉員協議会

吉敷地区福祉員協議会は、地域住民の生活や福祉に関する課題を見守り、早期発見するため活動をしています。

【福祉員とは】

住民同士のより強いつながりをつくるための「つなぎ役」として、日頃から近所の人達に話しかけ、近所の中での困りごとに気を配り、お互いが助け合えるつながりをつくっていく役割を持ちます。

また、市社協や地区社協、自治会などが、地域で実施している見守りネットワーク活動、ふれあいいきいきサロンや配食サービス等、様々な活動に参加し、地域福祉でまちづくりの推進に取り組む役割もあります。

【活動内容】

- 1 地域の見守り訪問活動
- 2 ふれあいいきいき給食サービス
- 3 ふれあいいきいきサロン
- 4 高齢者の地域交流
- 5 健康づくりの推進



7 敬老会への協力

8 視察研修会の実施

【今後の方針】

現在、福祉員協議会の最大の課題は、高齢者やシングルマザー（ファーマー）、ヤングケアラー、8050問題などの地域における孤独、孤立の深刻化にあります。

社会の変化の中、見守り活動や地域交流が大変難しくなっている今、民生委員や医療機関、警察、介護・福祉関係者など関係機関と協力・連携し問題解決を図っていくことが必要とされています。

特に、民生委員と福祉員の協力は必要不可欠なものとなっており、今後も見守り等の活動を通じて地域福祉でまちづくりを推進していきます。

（吉敷地区福祉員協議会 ☎083-922-3915）

リレーエッセイ

Relay Essay

064

みやかわ ひでよし
宮川 英之さん（下京）



皆さん、こんにちは。宮川英之です。

私は昭和46年山口市生まれの54歳です。湯田地区で小中高と青春時代を過ごしました。大学進学を機に一度地元を離れたましたが、地域の発展に貢献したいとの思いから山口に戻り30歳の結婚を機に24年間吉敷地区に居を構えています。

事業について述べさせていただきますと湯田地区で「テルマエ維新」「湯のまち倶楽部」というデイサービス事業を運営し、地域の高齢者の皆様が安心して過ごせる環境づくりに力を注いでおります。また、大内地区で社会保険労務士・行政書士事務所も営んでおり、助成金・補助金、給与計算、労務管理、相続・遺言、障害年金、外国人雇用支援などの業務に幅広く取り組んでおります。

吉敷地区では、良城商工振興会に入り、毎年ふるさとまつりやよき軽井沢通りマルシェなど多くのイベントに参加させていただき、地域の皆さまと親交を深めさせて頂いております。特に今年の夏祭り準備では、ステージもリニューアルされ、酷暑の中での作業でしたが、皆様と声を掛け合いながら協力し、良い思い出となりました。山口市全体においては、人口減少が刻々と進んでいますが、吉敷地区は子どもの数も多く、人口も多い地域で、元気で発展しているという印象です。日々いろいろな会費やイベント等に参加する中で地域の皆様の温かい人柄に支えられ、本当に感謝しています。

これからも微力ではありますが、吉敷地区の発展に精一杯貢献していきたいと思っています。



1水		
2木	町内会大会 18:30~	
3金		
4土	楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:00~12:00	
5日	レノファ山口 VS サガン鳥飼 14:00~ (※スタ)	
6月	あいさつの日 広域委員会 17:00~	
7火		
8水		
9木	ホテル旅館のつどい	
10金		
11土		
12日	街道ウォークスタンプラリー R2	
13月	市民スポーツ大会	
14火	生涯学習太極拳 10:00~12:00	
15水		
16木	ふれあい聖地巡礼	
17金		
18土	楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:00~12:00 かなやまふれあいウォーク 9:30~12:30 R2 えがお食堂よしき 11:30~13:00	

19日		
20月		
21火		
22水		
23木		
24金		
25土		
26日	レノファ山口 VS カターレ富山 14:00~ (※スタ)	
27月	吉敷ベテラン同好会練習 9:00~ 楽楽楽「誰でもどうぞの日」 10:00~13:00	
28火		
29水	もぎっ子運動会 10:00~11:30 R2	
30木	時がん(結核)検診・喀血検査 13:30~16:00 R2	
31金		

11月の主なイベント

9日	吉敷ふるさとまつり
10月	あいさつの日
29土	吉敷地区地区ソフトボール大会
30日	街道ウォークスタンプラリー R2

かけ
はし

「時と場に応じた言葉遣い」

私たちは、普段何気なく通っている言葉や、型にはまった思い込みから、差別や偏見に繋がる表現を耳にすることがあります。また、若者言葉と言われるものにも気になる言葉があります。この若者言葉は今に始まったことではなく、古くは清少納言の「枕草子」に当時の若者の言葉の乱れに関する記述があります。年を取れば、自分たちが若かった時に違っていない言葉が奇異に感じられ、違和感に繋がるのかもしれない。

文化庁が第20期国語審議会において若者言葉を「新鮮で好感の持てるものもあるが、好ましくないものも多い。それらの多くは次々に現れては消えるものであり、仲間内で使われる分には特に問題はないと思われるが、仲間以外の相手や改まった場面で、適切な言葉遣いが無視なくできるよう、学校・家庭・地域社会等の言語環境を整備し、指導していくことが望ましい。」と示しています。

仲間内と仲間以外の場面を意識し、時と場に応じた言葉遣いを考えていきたいものです。その時に、人権尊重を意識して言葉遣いをしたいのです。言葉遣いは、心遣いであり、相手を思いやることでもあるからです。

吉敷地域の誰もが実践できれば、素敵なまち、住みたいまち、吉敷となると信じています。

広報委員 河村 靖彦

【発行・編集】

吉敷地区広報委員会(〒753-0618 山口市吉敷佐堀一丁目4番1号)
☎083-922-3915 吉敷地域交流センター総合支援担当(地域)
☎083-922-0668 吉敷地域交流センター総合支援担当(行政)
☎083-922-3344 地域づくり協議会・吉敷自治会・地区社協

吉敷地区地域づくり協議会ウェブサイト

フェイスブック・インスタグラム

<https://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索

